

自動車産業界を取り巻く環境変化に関する最新動向
他業種から学ぶ中小企業の新事業展開

大きな変革期を迎えている中堅・中小の自動車部品サプライヤー企業において、自社の経営資源や強みを活かし、どのようにして新たな事業展開に取り組むのかは重要なテーマです。

他業種の中小企業の実例から学ぶ機会として、衣料用生地の請負加工中心の業態から自社ブランド商品を事業化した株式会社艶金における新事業展開やカーボンニュートラルなどの取組に関する講演と現場見学をあわせて行う実地研修会を開催します。

日時
令和5年 11月14日(火)

14:00～16:00 (現地集合13:45)

場所
株式会社 艶金 (大垣市十六町字高畑1050)

※現地集合/現地解散

定員
20名 (1社につき2名様までの参加に協力ください)

※1社で2名参加の場合は、参加者1名毎にお申込みください

対象
中堅・中小自動車部品サプライヤー企業

(主として岐阜・愛知・三重の各県で事業を実施している企業)

プログラム(予定)

14:00～

開会/ミカタプロジェクト紹介 (詳細は裏面を参照ください)

14:10～

【講演】(約60分)

- ・染色加工メーカーの新事業展開 (自社ブランド「KURAKIN」、
「reticot」の立上げ)
- ・自動車産業との関わり (ロボットスーツ)
- ・カーボンニュートラルへの取組

株式会社艶金 代表取締役社長 墨 勇志氏

15:10～

【現場・工場見学】(約50分)

- ・自社ブランド商品の企画・製造現場
- ・カーボンニュートラルへの取組現場
- ・質疑応答

16:00

閉会

本事業は、経済産業省中部経済産業局から「令和5年度カーボンニュートラルに向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業」の委託を受けて実施します。

株式会社艶金の概要

1889年(明治22年)に創業し、ファッション衣料の染色整理加工を主たる事業として、2019年には130周年を迎えた。

1980年代には日本有数の染色整理の加工メーカーに成長したが、1990年代に入り国内の衣料生産の激減への対応に迫られ、事業継続の危機を何度も経験した。生産現場の集約に加えて、請負加工を主とする業態から自社ブランドの商品開発を行うなどし、事業再構築を図った。

1987年にバイオマスボイラーを導入して以来、CO2排出量削減にも先駆けて取り組んでおり、2019年に「脱炭素宣言」を行い、2021年にはSBT認定を取得。

現在の主な事業は、化合繊・天然繊維等の染色整理加工、ロボットスーツ販売、自社ブランド商品(retricot、KURAKIN)の企画・製造・販売となっており、事業の多角化に取り組んでいる。



代表取締役社長
墨 勇志氏

参加申込方法

下記ウェブページをご覧ください、申し込みをお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/Q7pwuN3ax7>



QRコードからも
申込が可能です。



【申込み〆切り】令和5年**11月7日(火)**

※定員に達した場合は、その時点で申込みを締め切ります。

「個人情報の取扱いについて」

- 提供いただいた情報は、ミカタプロジェクトの運営及び関連情報の案内に使用します。
- その取扱いは経済産業省/中部産業連盟/講師に限定し、本人の同意なく第三者に提供しません。
- 経済産業省の個人情報保護方針に従い適切な保護措置を講じ、管理します。

注意事項等

- 当日は、**現地集合・現地解散**です。(現地会場に駐車場あり)
13:45に直接、株式会社艶金へお越しください。(名刺を1枚お持ちください)
- 企業敷地内での撮影・録画・録音等は禁止です。
- 参加者への開催についての詳細な案内は、開催4日前に予定しています。

相談窓口のご案内(自動車産業「ミカタプロジェクト」)

一般社団法人中部産業連盟は、経済産業省中部経済産業局からの委託を受けて、地域の**中堅・中小自動車部品サプライヤー企業の業態転換・事業再構築の実現に向けて、コーディネーターによる相談対応、専門家派遣やセミナーなどを通じて支援する「ミカタプロジェクト」を実施**しています。電動化対応等に関して悩みを抱えている企業の皆様は、お気軽にご相談ください。

(専用HP: <https://chbmobi.meti.go.jp/>)

お問合せ先

主催: 経済産業省中部経済産業局 自動車関連産業室

実施・運営: 一般社団法人中部産業連盟 自動車サプライヤーセンター
関根、石原、太田 (TEL 052-938-3737)